


【第3号様式】おきなわSDGs認証制度 主要評価項目（アクションプランに基づく活動計画書）

1. 団体情報

企業・団体名	株式会社沖縄海邦銀行
--------	------------

2. 申請内容

(1) 2030年のあるべき姿（ビジョン） ※記載必須

2030年のあるべき姿（ビジョン）	
<p>*SDGsの目標である2030年までに、「(2) 今後2年間で特に注力する活動・取組」の実施によって、貴社/団体が目指す未来を記載ください。 (貴社/団体が目指したい社会、目標の達成に向けて貴社/団体が考える課題、それに対して貴社/団体ができる取組の方向性など)</p> <p>沖縄海邦銀行は、経営理念である「地域密着」「健全経営」「人材育成」のもと、SDGs（持続可能な開発目標）の趣旨に賛同し、「みどりの銀行」として環境保全に継続的に取り組み、地域金融機関の役割・特性を活かして地域経済の持続的な成長と、地域社会の活性化に貢献することで、持続可能な社会の実現に努めてまいります。 実現に向け以下の3項目を重点的に取り組みます。 (1)自然環境の保全 (2)地域経済の発展、持続的な成長 (3)地域社会の活性化</p>	<p>2030年のあるべき姿の実現へ向けて取り組むゴール *SDGsの17のゴールから選択し、アイコンを入れてください。</p> 

(2) 今後2年間で特に注力する活動・取組 ※最低3個（経済・社会・環境）は記載必須

No.	今後特に注力する活動・取組			おきなわSDGsアクションプランとの関係性		関連するステークホルダー	補足事項・留意点等	貴団体におけるKPI（進捗管理指標）		
	概要	分類 *任意の箇所は、ブルダウ ンから分類を選択ください。	優先課題	SDGs推進の目標	関連するSDGs ターゲット	*連携・協力するステークホルダー がいる場合に記入する。	*補足事項等があれば記入する。	管理する指標	現状値 (2022・2023年度)	目標値 (2024・2025年度)
1	みどりの運動（緑化推進活動）の展開	環境	必須 ⑦	⑦-1 美しく豊かな自然が保全され、生物多様性の維持を実現する。	15.1 15.4 15.5	沖縄県緑化推進委員会	緑化推進イベントの一例 ①「みどりの講演会」 2022年年間参加人数 425人 ②かいぎん平和の森育樹祭 2022年度参加人数 125人 ③かいほーくんフラワー大作戦 2022年度 HP投稿数 30件	緑化推進イベント年間参加人数（延べ人数） ①「みどりの講演会」 2022年年間参加人数 425人 ②かいぎん平和の森育樹祭 2022年度参加人数 125人 ③かいほーくんフラワー大作戦 2022年度 HP投稿数 30件	580人 (2022年度)	2,000人 (2024年度)
2	金融経済教育の推進、金融リテラシーの醸成	経済	必須 ④	④-2 観光との連携・相乗効果なども活用し、県内企業の稼ぐ力を強化することで、域内経済循環の拡大や県民所得の向上を実現する。	4.4 4.7 4.a 8.10 12.8	沖縄県銀行協会 沖縄県教育委員会	金融教育アプリを活用し、若年層の金融リテラシー醸成を図る。	アプリ累計ダウンロード数	6,259件 (2022年度)	7,300件 (2025年度)
3	役員による地域貢献活動を実践する態勢の強化	社会	必須 ⑩	⑩-1 県民一人ひとりが地域活動に積極的に参画するローカルパートナーシップが充実した社会を実現する。	11.4 14.1 15.4 17.17	海邦総研	-	地域貢献活動年間参加人数（延べ人数） ※個人単位	データなし	1,600人 (2025年度)
上記の取組に加えて、今後特に注力する取組があれば、記載ください。（分類を「経済・社会・環境・ガバナンス・地域課題への貢献・国際課題への貢献」から自由にご選択ください）										
4	気候関連財務情報の開示	ガバナンス	任意 ⑥	⑥-2 2050年度カーボンニュートラルの実現に向け、本県の地域特性に合ったグリーンエネルギーの導入拡大や省エネルギー対策の推進、二酸化炭素吸収源対策等が進み、災害に強い島しょ型の脱炭素社会に向けた基盤形成を実現する。	7.a 17.16	-	-	サステナビリティレポートまたは統合報告書による開示	未実施	気候関連情報開示資料の発行 (2024年度)
5			任意							

(3) 各活動・取組に関する詳細 ※記載必須

各活動・取組に関する詳細		
* 各取組内容を詳細に記載ください。なお、取組については現時点の達成度に限らず、将来的な展望や今後目指す展開についても必ず記入してください。		
取組 1	取組の詳細	緑化推進に関する啓発、実践活動を展開する。(みどりの運動)
	取組において、現時点で実施/決定していること	1974年より「みどりの運動」として、緑化に関する講演会の開催、募金活動、植樹・育樹活動を継続している。
	取組において、今後予定していること	これまでの取り組みを継続するとともに、より多くのステークホルダーが緑化活動に参加できるイベント等を企画する。
	KPIにする指標の設定理由、目標値の妥当性、指標の計測方法	2022年度の参加者数(コロナ禍によるイベント縮小影響)を考慮し、3倍超の参加者数を目標に設定。
	取組を推進する体制	「みどりの運動」の更なる展開を含めたSDG s 推進計画を策定し、組織的に取り組む。 毎月本店ビルで開催している「みどりの講演会」や「かいぎん平和の森育祭」を沖縄県緑化推進委員会と共催で実施。各地での植樹祭なども同委員会と連携して行っており、緑化活動の推進に当たっては引き続き、同委員会と連携して対応する予定。
取組 2	取組の詳細	アプリ等を活用した金融経済教育の推進により、金融リテラシーの醸成およびSDG s 理解の促進を図る。
	取組において、現時点で実施/決定していること	2016年に本格金融教育アプリ「クイズ・かいほー伝説」をリリース。2022年出題ジャンルに「SDG s」を追加してリニューアルを実施。
	取組において、今後予定していること	新規で学生、新社会人に向けた金融教育セミナーなどを実施し、沖縄県における金融リテラシーの向上に貢献する。
	KPIにする指標の設定理由、目標値の妥当性、指標の計測方法	セミナーにおいてアプリを活用するなど、年間500件超の増加を目標に設定。 (Apple、アンドロイドのアプリストア累計ダウンロード数)
	取組を推進する体制	若手行員を中心にSDG s 活動を実践するチーム「SDG s サポーター」を組成した。 金融経済教育については、本年4月に金融経済教育推進機構が立ちあがる予定であり、同機構が示す方向性も考慮して、県内金融機関との連携も検討していきたい。
取組 3	取組の詳細	役職員による地域貢献活動の実践を推進する。
	取組において、現時点で実施/決定していること	地域貢献活動の実績を取り纏め、ディスクロージャー誌等で発信している。
	取組において、今後予定していること	各本店における地域貢献活動の実施計画の策定、提出を求める。
	KPIにする指標の設定理由、目標値の妥当性、指標の計測方法	当行役職員(約800名)の2倍以上の参加(年間累計)を見込み、目標値を設定した。
	取組を推進する体制	地域貢献活動の好事例を行内外に発信することで、役職員が自発的に地域貢献活動へ参加する組織風土を醸成する。関係会社(「関連するステークホルダー」列に記載の「海邦総研」)や支援しているサッカーチームなどにも参加いただく、清掃イベントも検討している。
取組 4	取組の詳細	TCFD提言に基づく気候関連財務情報の開示を行う。
	取組において、現時点で実施/決定していること	TCFDの賛同、開示に向けて情報収集を行っている。
	取組において、今後予定していること	賛同・開示に向けた対応事項の体制の整備
	KPIにする指標の設定理由、目標値の妥当性、指標の計測方法	取り組みにあたり、GHG排出量削減目標の設定、達成に向けたエンゲージメントを検討することから、気候関連情報の開示自体をKPIとした。
	取組を推進する体制	取締役会の関与を含めガバナンス体制を整備し、組織的に取り組む。